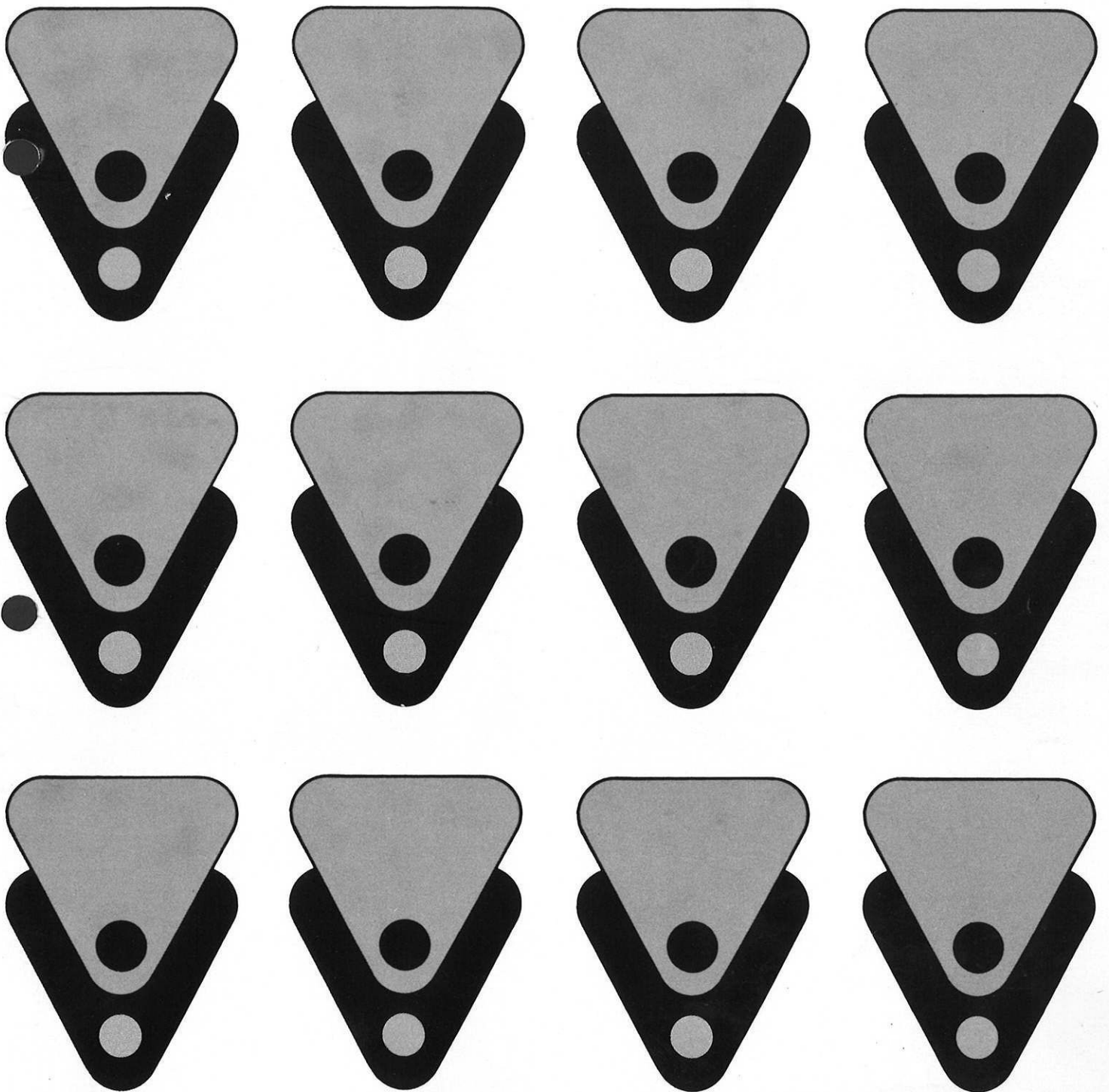


ステッチマーカ[®]

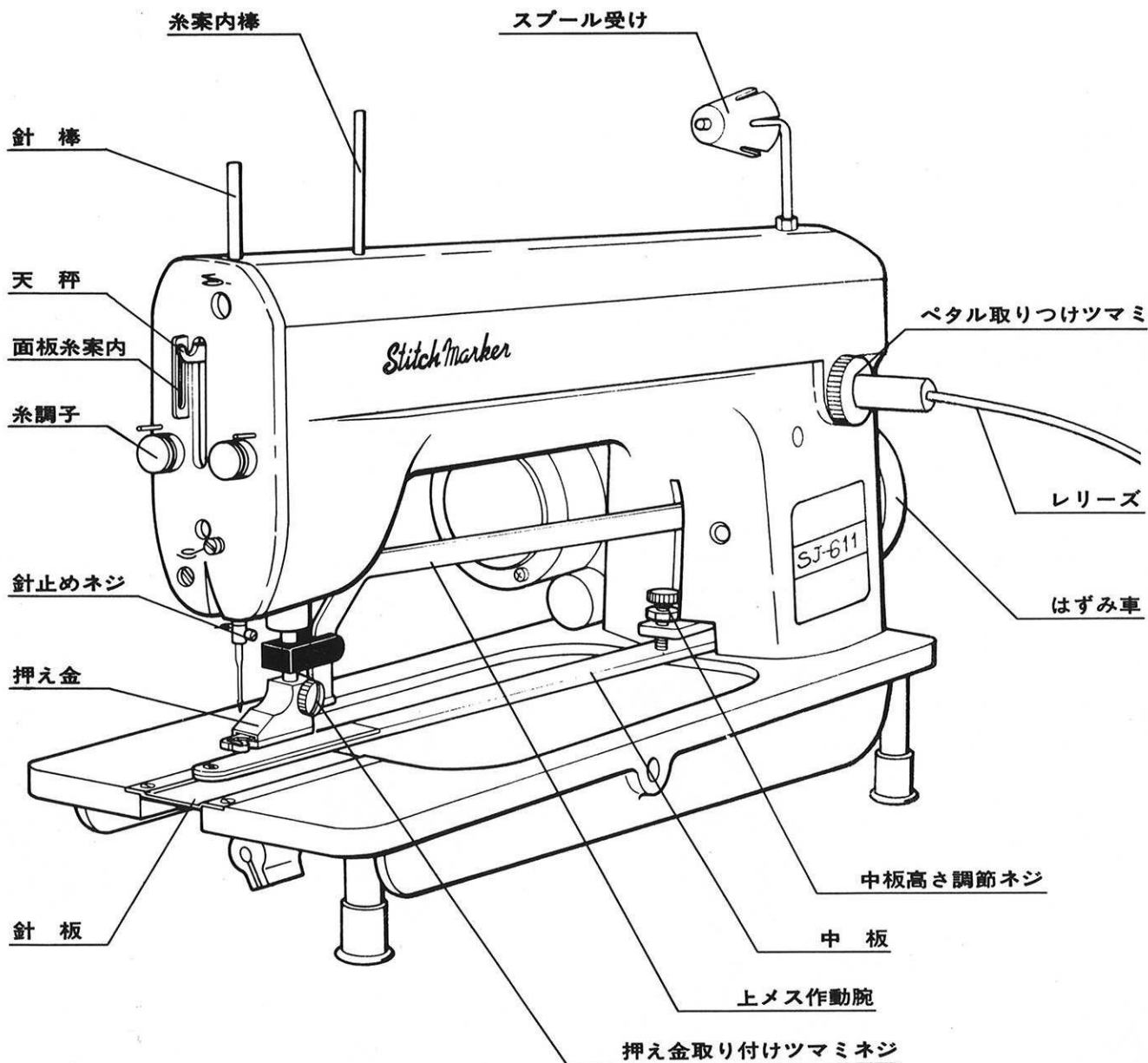
きりびつけマシン

SJ-611型

ご使用のてびき



部分名称



はじめに

このたびは、ステッチマーカ―SJ-611型をお買上げいただきまして、ありがとうございます。SJ-611型を最も有効に末永くお使いいただくために、この手引きをお役だてください。

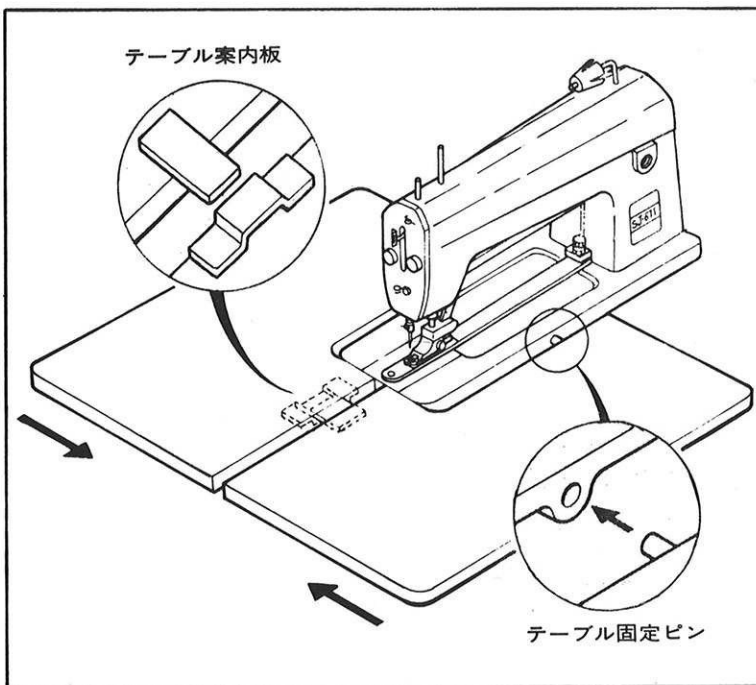
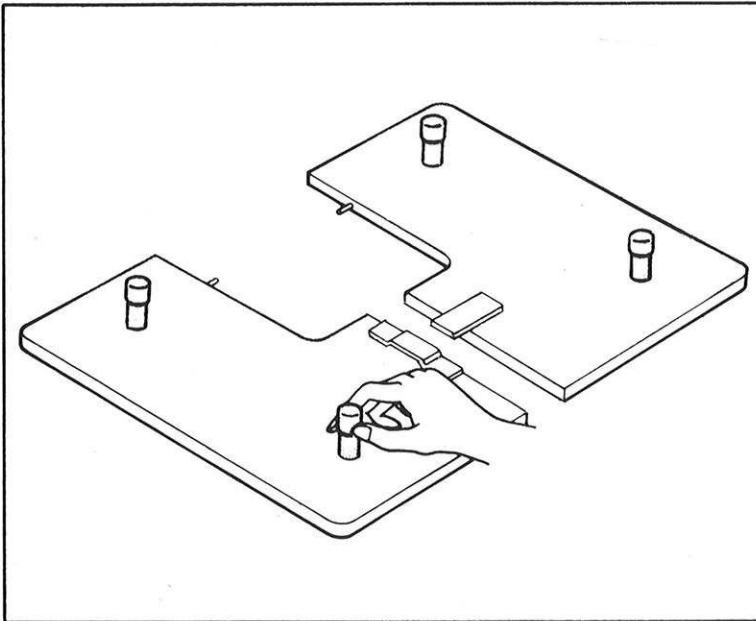
目 次

1. ミシンのセットの仕方	1
1-1 補助テーブルの取り付け方	1
1-2 ベタルセットの取り付け方	2
1-3 電源の取り方	2
2. 糸のかけ方	3
3. 針の取り付け方	4
4. 運転の仕方	5
5. チャコラインの合わせ方	6
6. 中板の高さ調節	6
7. 作動メスの交換の仕方	7
7-1 上・作動メスの交換	7
7-2 下・作動メスの交換	7
8. 残り糸長さの調節	8
9. きりびつけの原理	8
10. 脚卓テーブルの使用	9
11. ミシンライトの取り付け	9
12. 給油	10
13. すべりやすい生地 of 縫いずれ防止	10
14. ミシンの調節	11
15. 生地 of 持ち方、押え方	12
16. 布 of 動かし方	13
17. 特殊なきりび of 打ち方	14
18. 梱包明細、仕様表	15

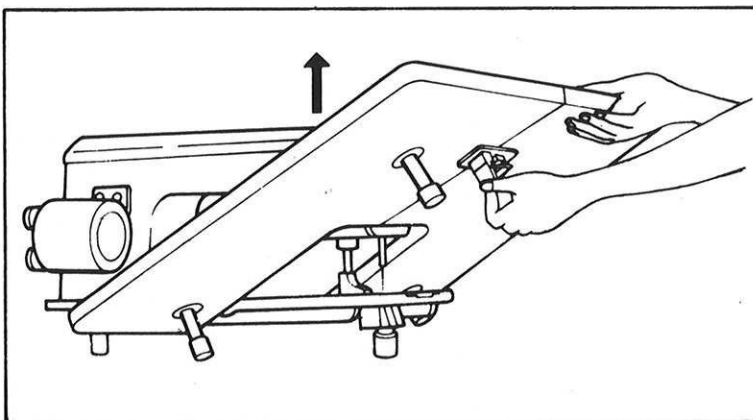
1. ミシンのセットの仕方

1-1 補助テーブルの取り付け方

梱包箱に入っている4本の脚を、
テーブルの裏面のネジ穴に、各々
しっかりネジ込んでください。



先ずテーブル案内板を合わせてく
ださい。次にテーブル固定ピンを
差し込んでください。

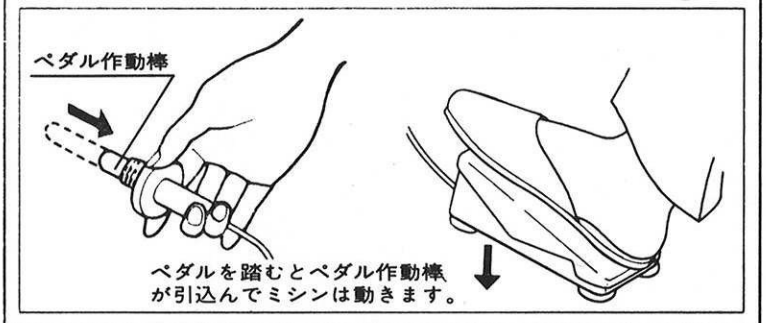
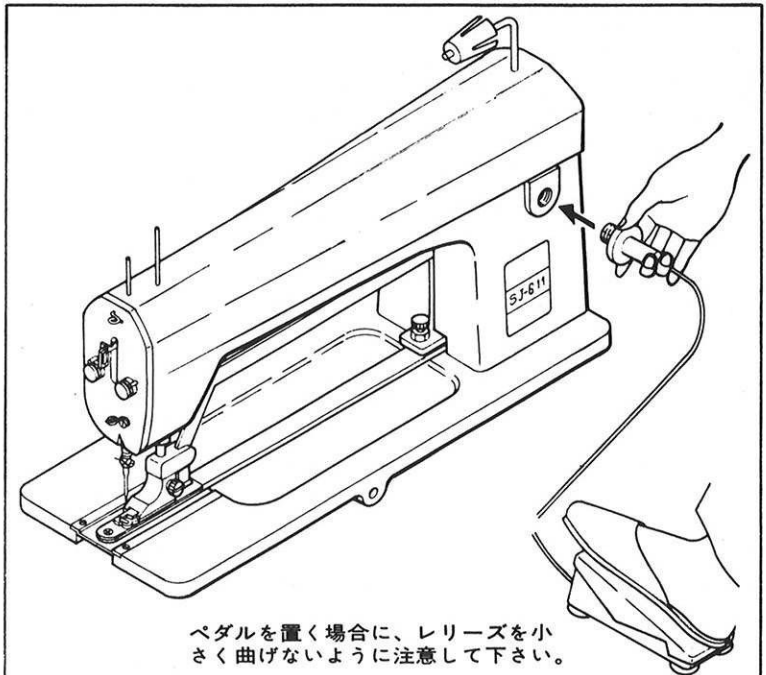


テーブルを持ち上げて裏面の引張
りジョウをしめて固定してください。

1-2 ペダルセットの取り付け方

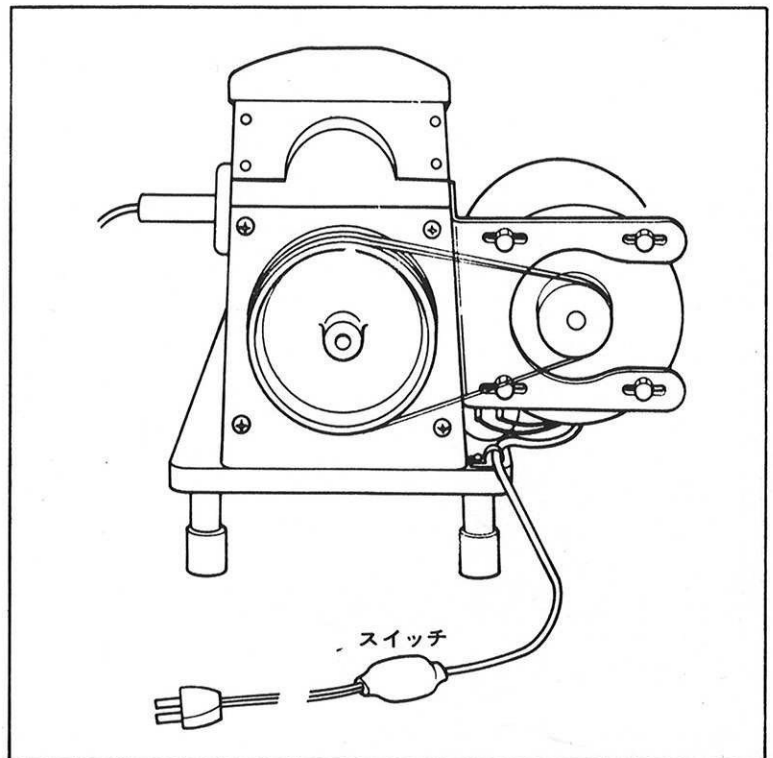
先ず束ねてあるペダル・リリースをほどいてください。

ペダルをふみ込んだままの状態、しっかりとツマミをネジ込んでください。

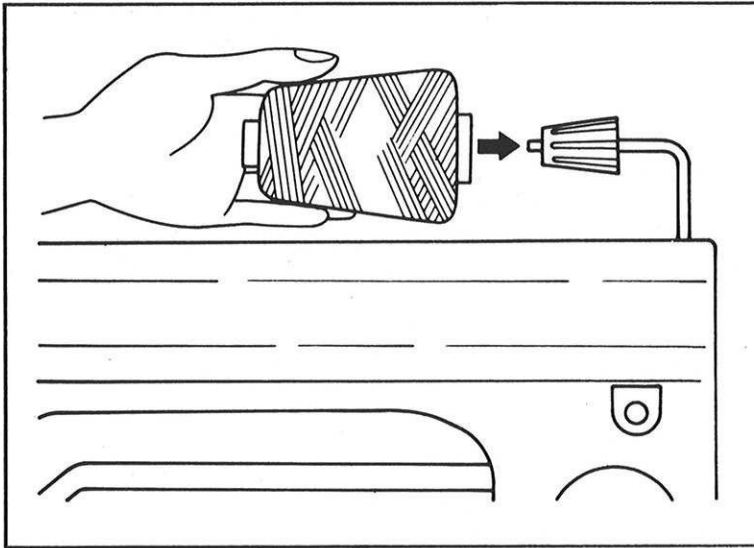


1-3 電源の取り方

電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。



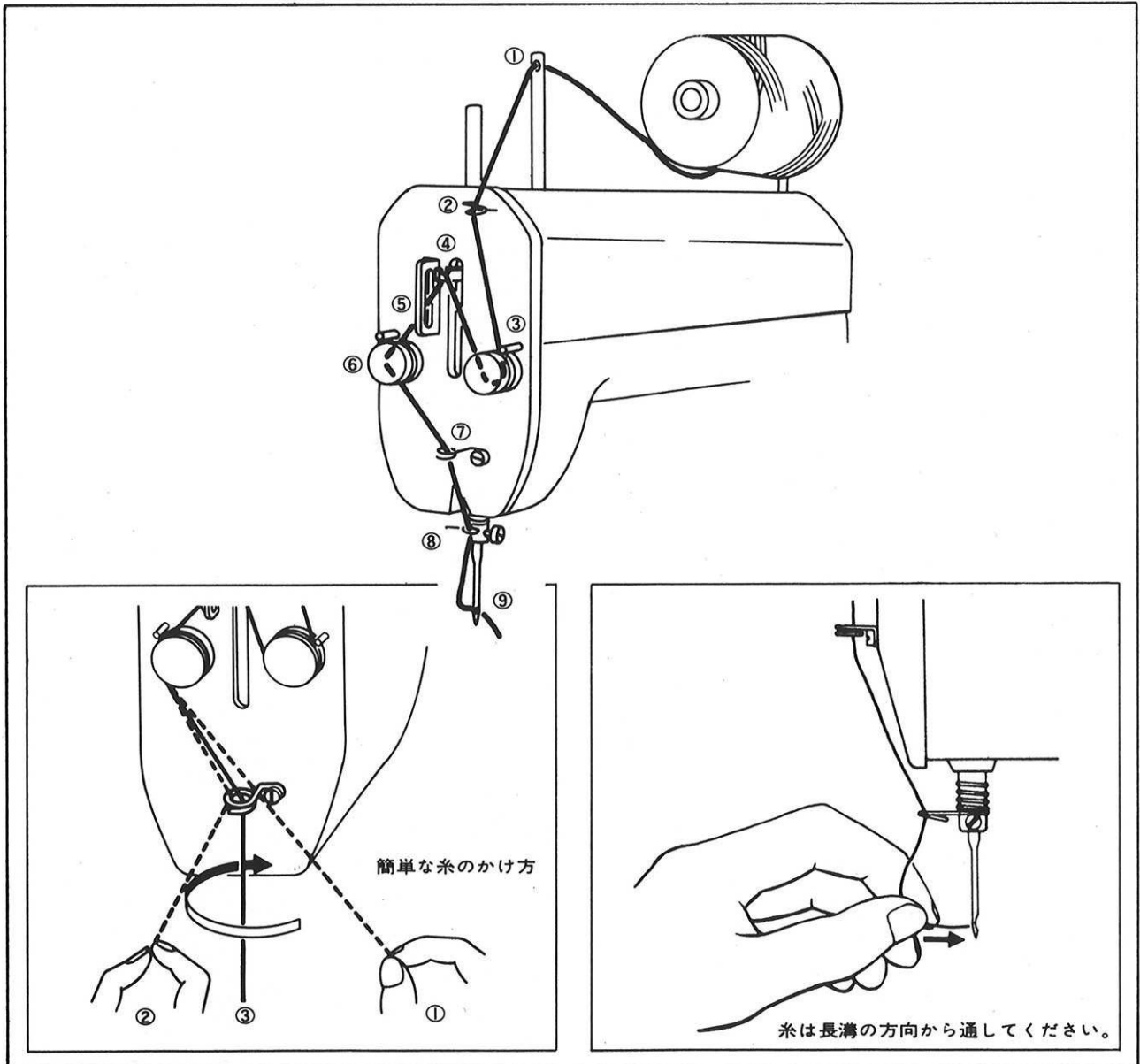
2. 糸のかけ方



2-1 このミシンには円錐形糸巻き（チーズ巻き）を使用してください。ミシン上部のスプール受に糸巻きを差し込んでください。

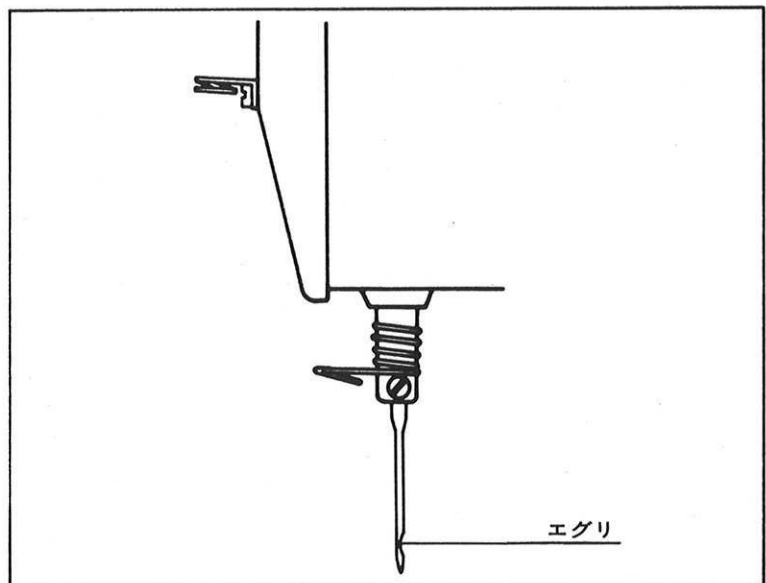
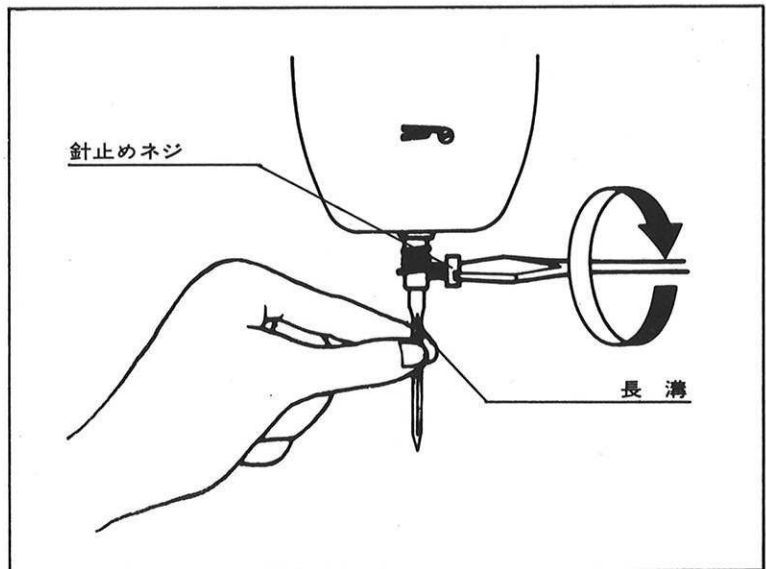
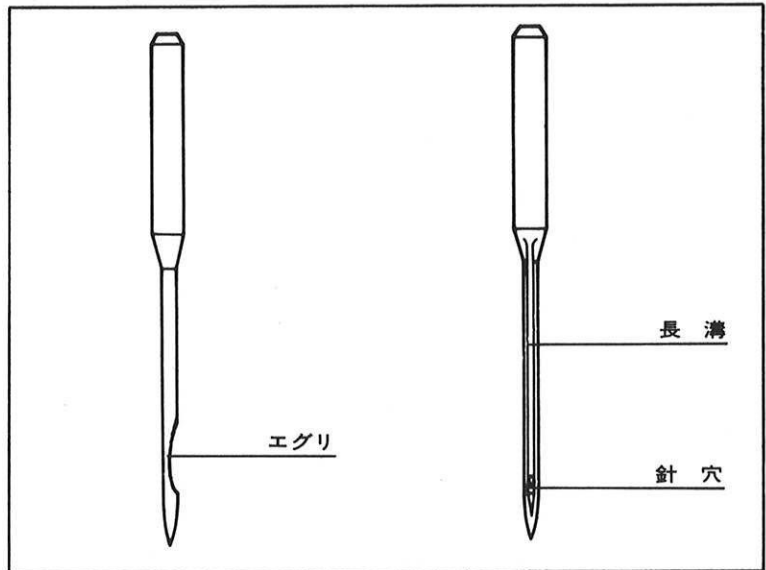
2-2 糸のかけ方

糸は番号に従って通してください。

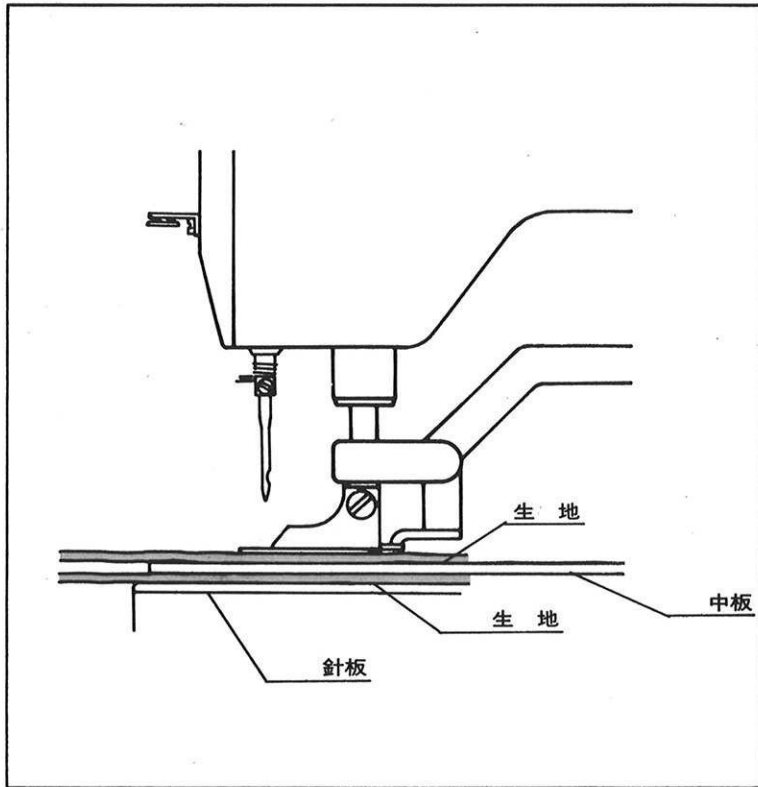


3. 針の取り付け方

3-1 このミシンの針はBL×1の#14が標準です。
針の糸溝(長い溝)が、面板方向から見て正面になるように合わせて、針棒の針穴に奥まで差し込み、針止めネジで固定してください。



4. 運転の仕方



4-1 電源コードの中間スイッチを入れますとモーターが回転します。

スイッチを切らないかぎりモーターは回転しつづけます。

● ミシンが1回転(針の上下)で1つのきりびつけができます。

● ペダルを1回踏み、ペダルを離しますと1つのきりびつけができます。最初は確実に1回行なってください。

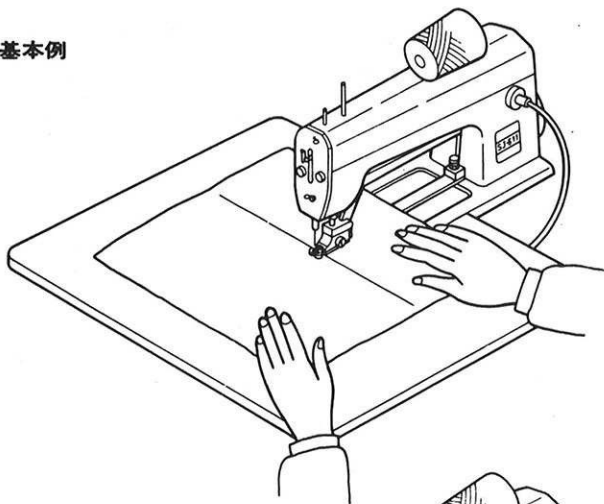
● ペダルを踏み続けるとミシンは連続して動き、連続打ちができます。

慣れますと連続打ちでやりますと、より一層能率がアップします。

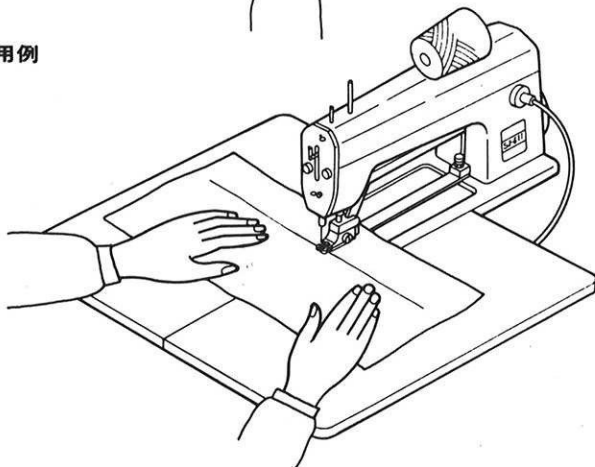
中板と針板の間に下の生地をはさみ、押え金と中板の間に上の生地をはさんでください。

このミシンは手送りですから、押え金が上ると同時に、押え金の溝の線の真下にチャコラインを合わせて、生地を送ってください。

基本例

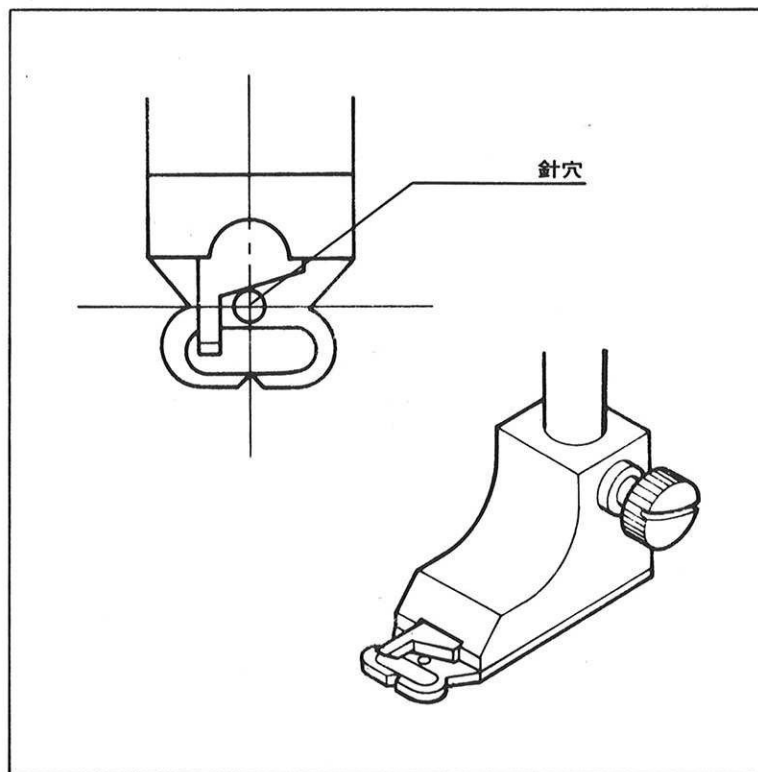


応用例



5. チャコラインの合わせ方

5-1 押え金には針穴を中心にして、中央、左、右に溝が切ってあります。チャコラインに合わせて位置ぎめをするとき、目安にすると便利です。

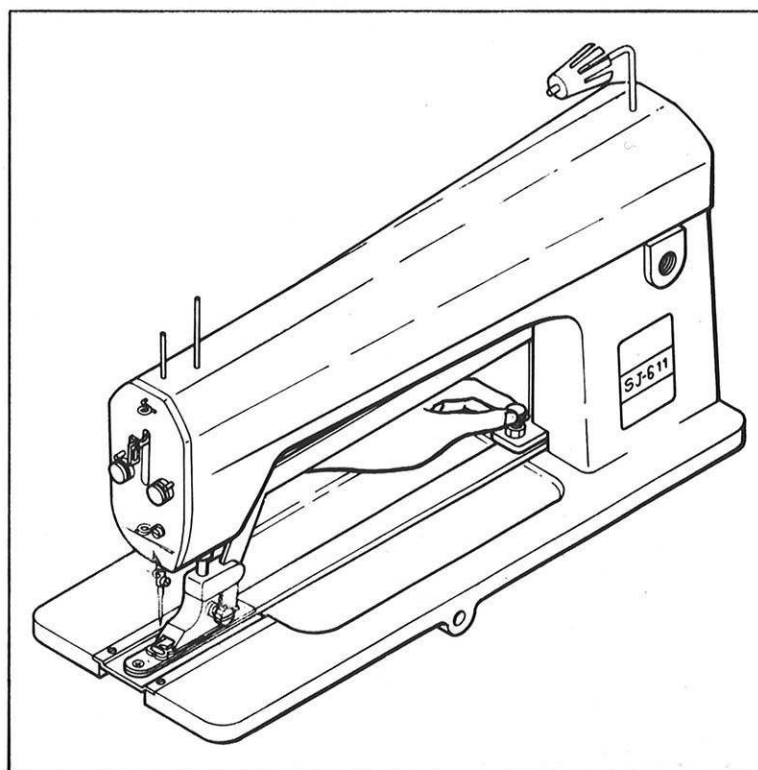
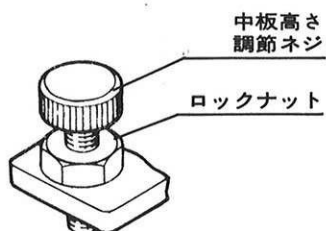


6. 中板の高さ調節

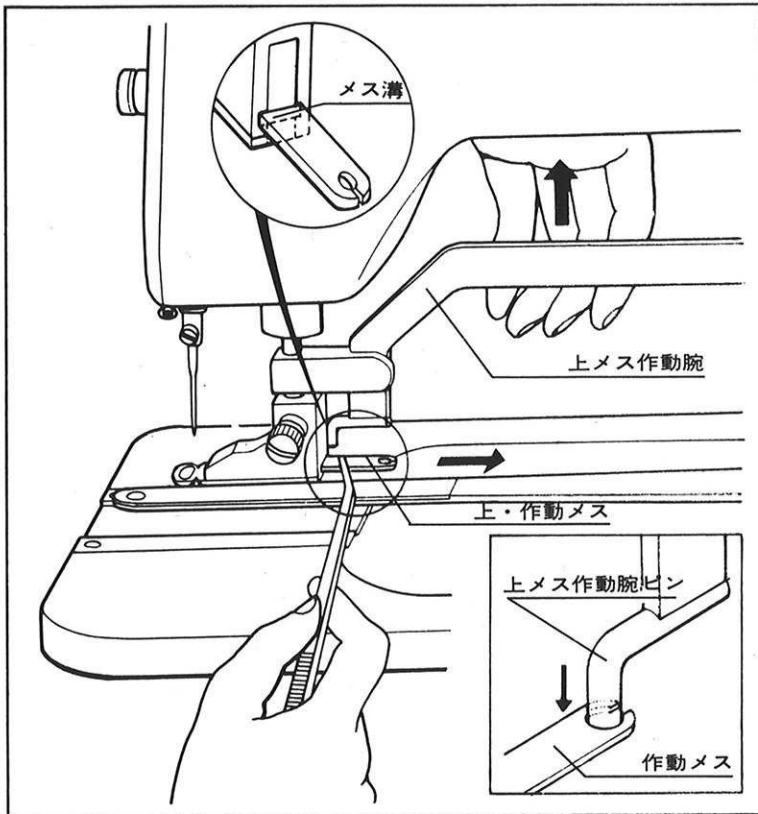
6-1 生地の厚さに合わせて中板の調節ができます。

下のロックナットをゆるめてから、上の調節ネジを廻らすと中板の調節ができます。ロックナットは必ずしめてください。

●下布が針板と中板のスキマにスムーズに動かせるように、中板の高さを生地の厚さに合わせて調節してください。



7. 作動メスの交換の仕方



7-1 上・作動メスの交換

メス作動腕を持ち上げますと、上メスを後方に引き出すことができます。

新しいメスと交換する場合、メス後部の穴に上メス作動腕のピンを確実に入れてください。

7-2 下・作動メスの交換

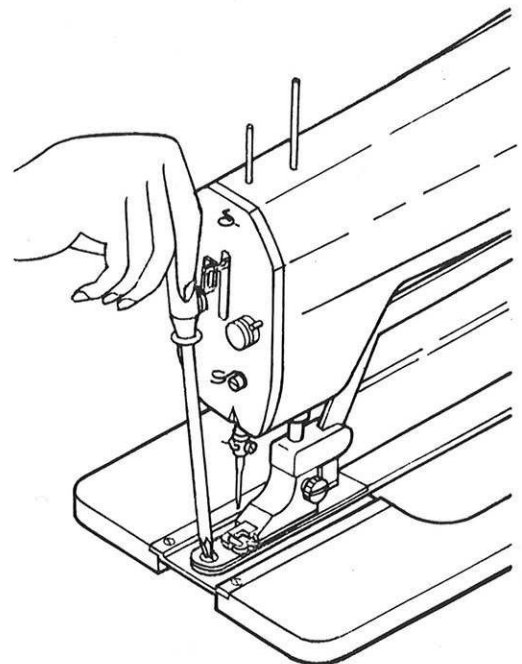
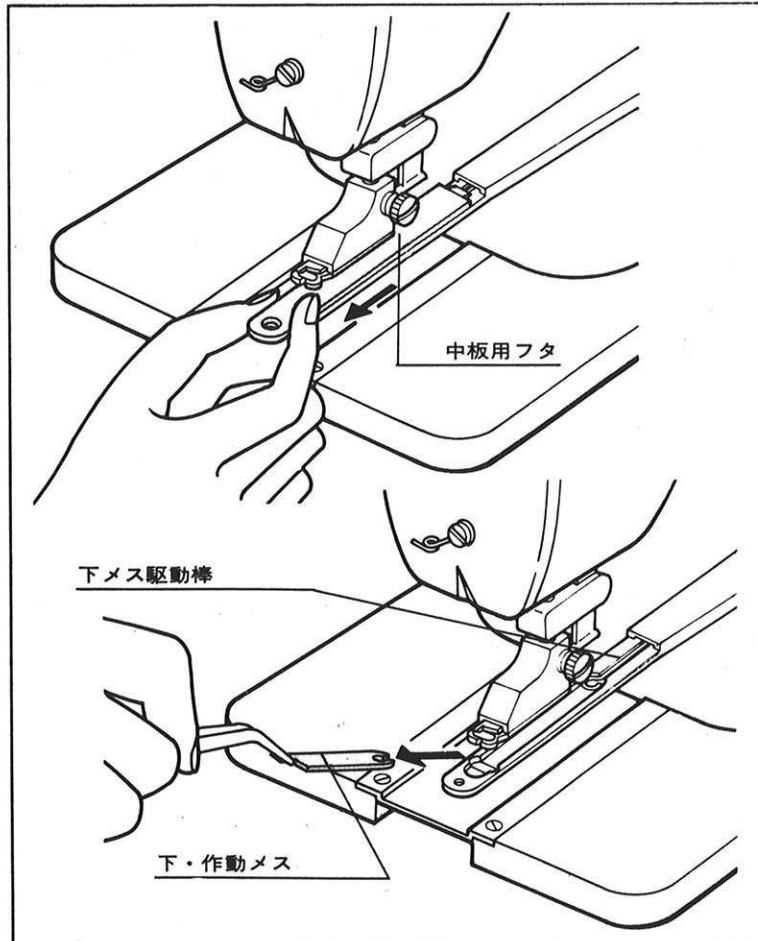
中板先端⊕ネジをとりはずします。中板のフタを手前に持ち上げるようにして引きだします。

切れなくなったメスをピンセットでつまみ出してください。

●メスは上下共通です。

メスをセットする時は、下メス駆動棒の先端の丸い部分にはめ込んでください。

※固定メスは原則的に交換する必要はありません。

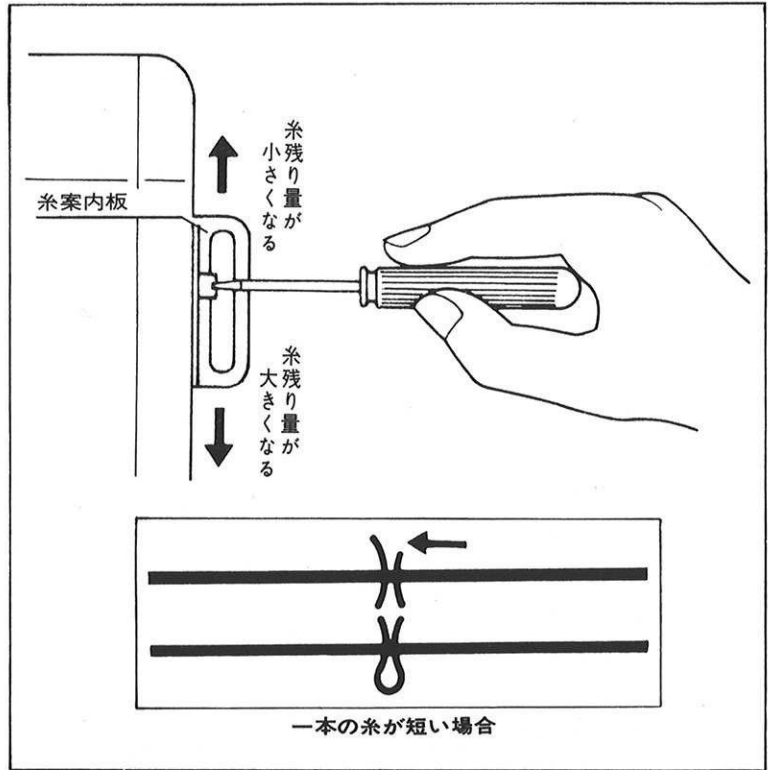


8. 残り糸長さの調節

8-1 このミシンは糸残り量を中厚物(標準)に合わせてあります。

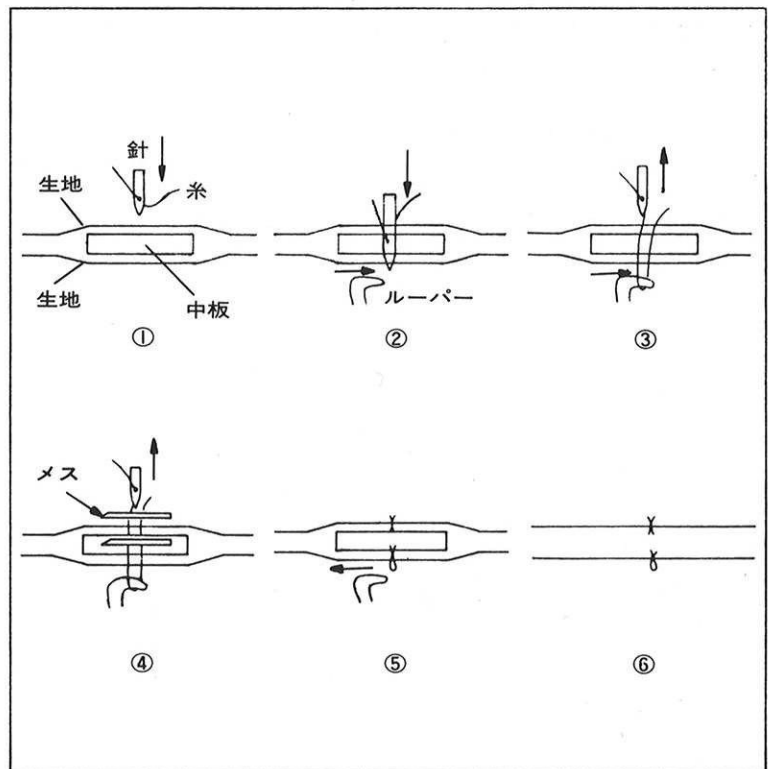
生地の種類・厚さにより残り糸の長さを変化することがあります。

糸案内板を上下して調節してください。

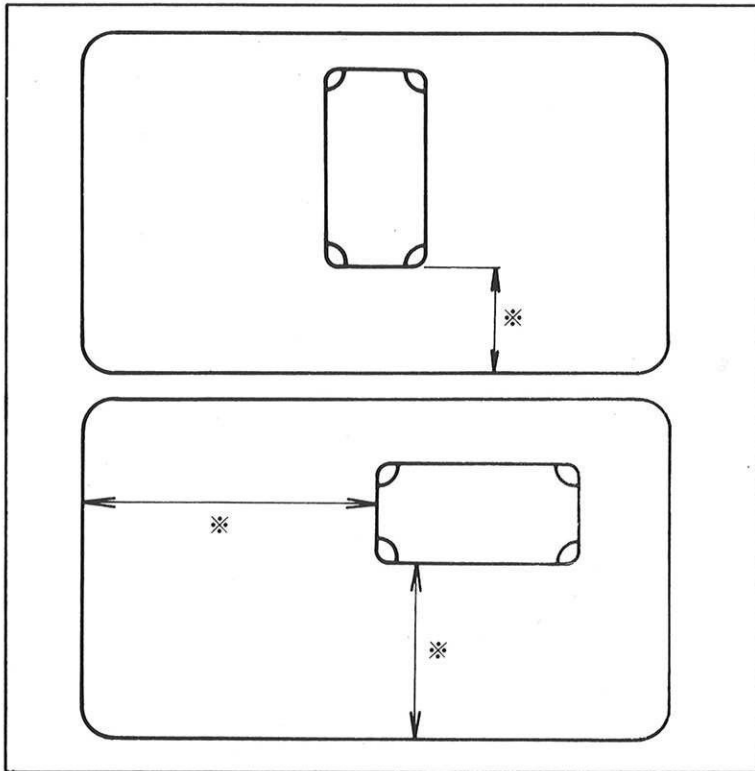


9. きりびつけの原理

9-1 針が中板および針板を通過して糸がルーバーにかかり、針が中板より少し上った時に上メス、下メスが同時に作動し、糸が切れるようになっています。



10. 脚卓テーブルの使用



10-1 特殊テーブルを使用する場合

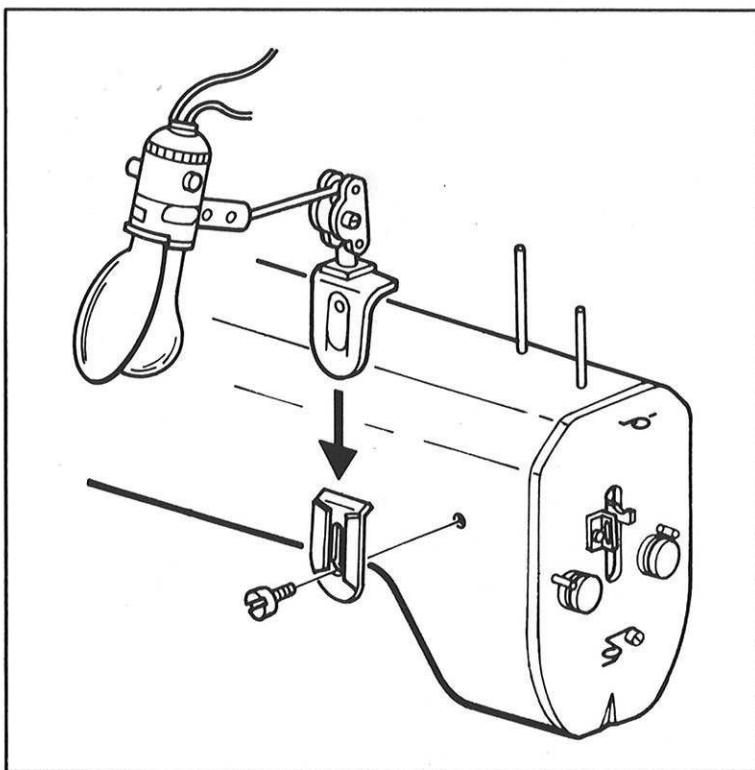
●※印寸法はできるだけ大きく取ってください。

SJ-611型のベット寸法は96タイプのミシンベット寸法に合わせてあります。

96タイプの本縫ミシンのテーブルを使用する場合。

ベット裏面の3本の脚をはずしてください。

11. ミシンライトの取付け

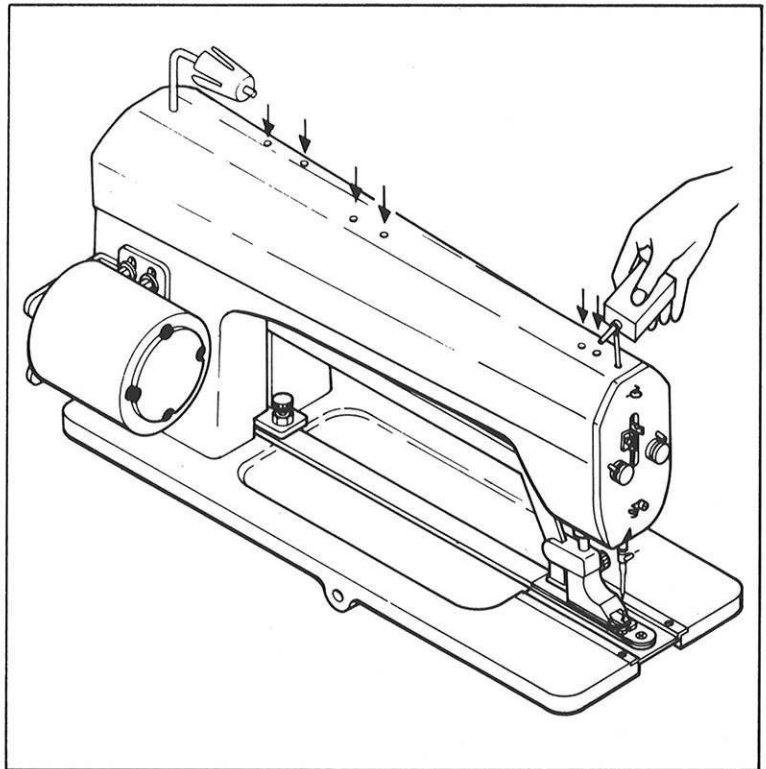


11-1 市販されているミシンライトを使用する場合、ミシン裏面のライト取り付けネジを使用してください。

12. 給油

12-1 ↓印孔(六ヶ所)に1~2滴給油してください。

12-2 給油は一週間に一度、作業終了時に行なってください。

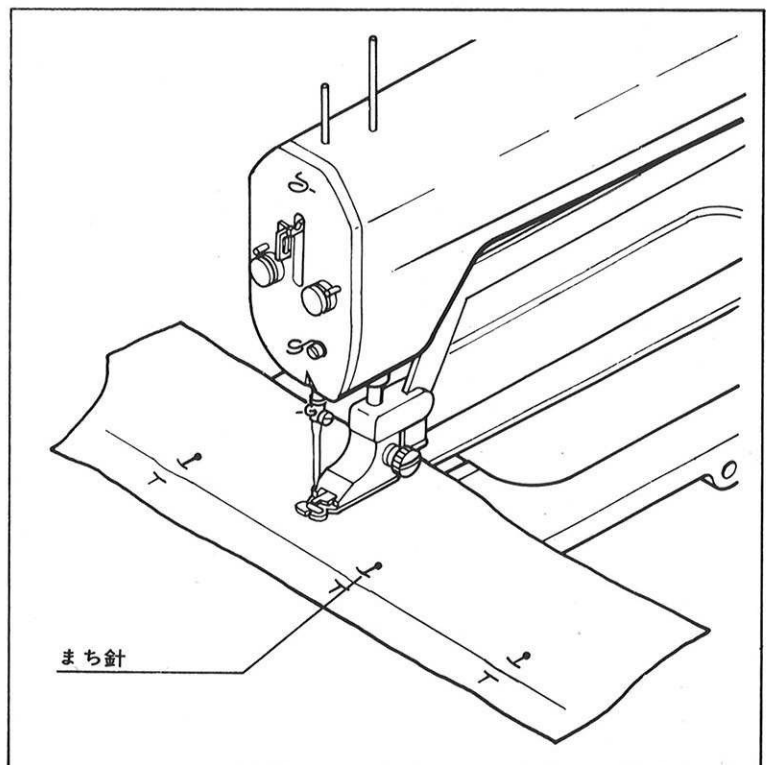


13. すべりやすい生地 of 縫いずれ防止

13-1 トリコットジャージー、シルク、シルクジョーゼット等の非常にすべり易く運びにくい生地の場合は、チャコラインの真上から直角にマチ針で止めますと、簡単に使用でき、ズレる心配がありません。

13-2 マチ針の打ち方

マチ針をチャコラインの真上から直角にさしてください。



14. ミシンの調節

ミシンが動かないとき

- プラグが確実にコンセントに差し込んでありますか。
- ベルトがゆるくありませんか。

糸が切れるとき

- 糸のかけ方は正しいですか。
- 糸の種類はどうですか。

針が折れるとき

- 針が、針板・押え金・ルーパー等にぶつかっていませんか。
- 針の取付け方がまちがっていませんか。

糸が針穴から抜けるとき

- 糸のかけ方は正しいですか。
- 針の取付けは正しいですか。
- 糸がどこかに引っかかってはいませんか。
- 糸案内板の高さが高すぎませんか。(8.残り糸長さの調節の項参照)

目飛びするとき

- 針が正しく取り付けられていますか。
- 針が曲っていたり、針先がいたんでいませんか。
- 糸のかけ方は正しいですか。
- 薄物・トリコットの場合は、針をBL×1・#11を使用して下さい。

15. 生地を持ち方、押え方

15-1生地の上からそのまま手を乗せて押えてください。

生地の大小によって生地を押えるか、はさむか、つまむかいずれかの方法を選んでください。

15-2適当な間隙でマチ針を打ち、仮止めを図1、図2のように手を添えてください。

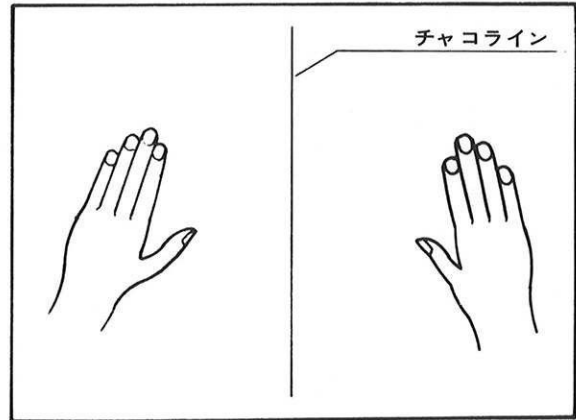


図1

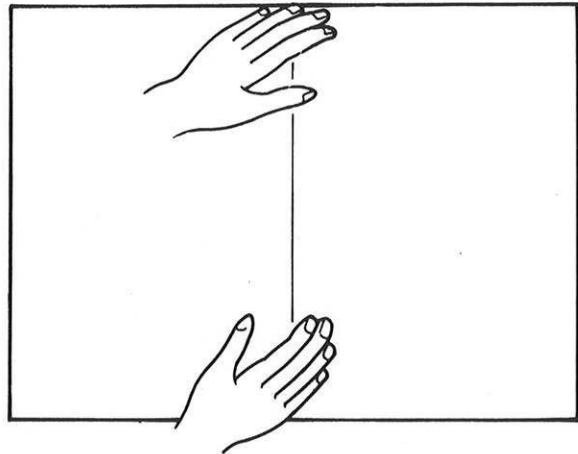


図2

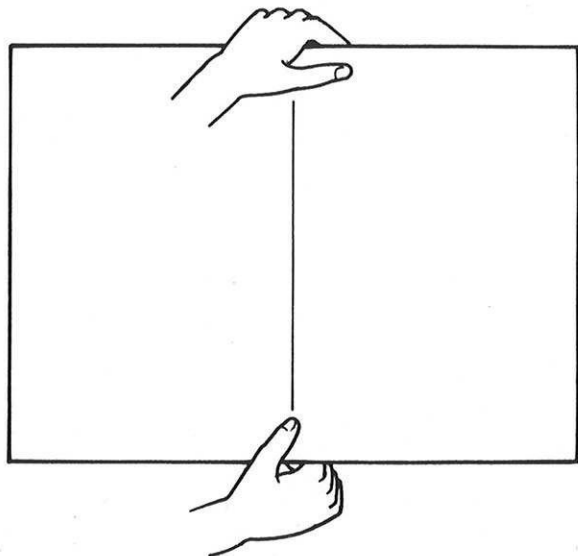


図3

16. 布の動かし方

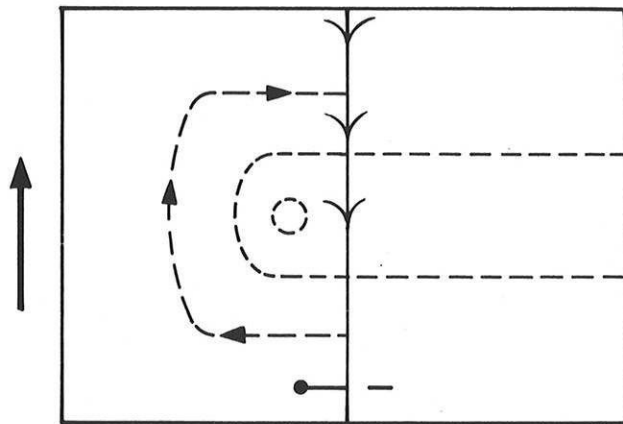


図 1

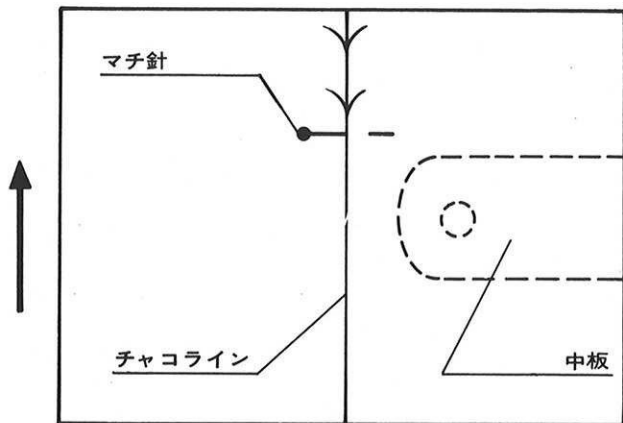


図 2

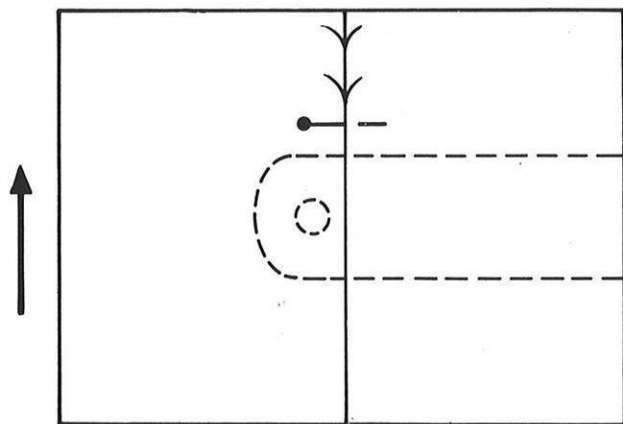


図 3

16-1生地を機械にセットしましたら、生地への向きは原則的に変えないようにしてください。向きを変えようとすると手が生地から離れ、上下の布がズレてきりびの位置がズレる原因になります。

16-2チャコラインの手前からきりびを打っていきますと、当然チャコライン上のマチ針が中板に当たりますので、その時は図 1 の点線矢印のように、生地を中板に添ってまわし込んで送ってください。

※布の動かし方は図 1、図 2、図 3 に従って行ってください。

17. 特殊なきりびの打ち方

17-1 図1～6は数字の順に従ってきり

びを打ってください。

図4、図6は各々カドであるため、万一それが抜けてしまうと、カドがどこかわからなくなりますので(4)と(5)を各々(1)と(3)の線に平行に打ち、(4)と(5)の中間点はそのカドになるという打ち方をします。

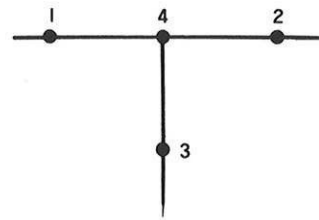


図1

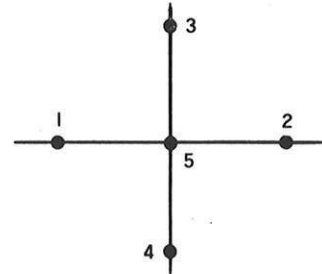


図2

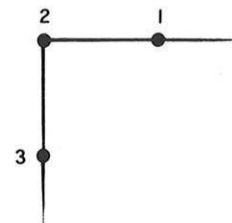


図3

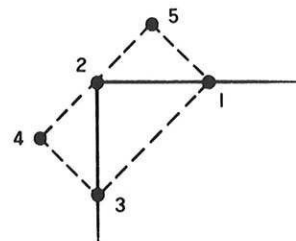


図4

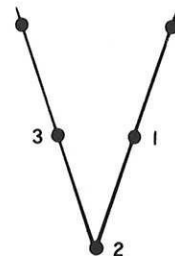


図5

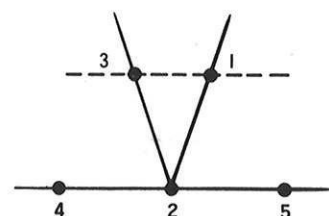


図6

18. 梱包明細、仕様表

1. ミシン(モーター付)
2. テーブル一式
3. ペダルセット一式
4. 頭部カバー
5. ご使用のてびき
6. 検査合格証
7. プラスドライバー
8. アクセサリーボックス

スパナ(モーター用、中板調節ロックナット用)・・・8 ^{mm} ・10 ^{mm}	1個
ピンセット	1個
針 BL×1 #14	3本
針 BL×1 #11	3本
油差し(20cc入り)	1個
作動メス	2個
中板用フタ止めネジ	1本
ブラシ	1本

●仕様表

糸切り装置	自動切断方法
押え上り量	4 mm・4 mm
使用針	BL×1 #14(標準)
布送り	八方手送り式
駆動方式	ペタル式
回転数	120r.p.m(最高)
使用糸	一般しつけ糸(しろも) #40
使用モーター	100V 20W コンデンサーモーター

MEMO

